

住宅改修が必要な理由

(P1)

被保険者 番号	年齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和	年 月 日	性別	□男 □女	現地確認日	令和 年 月 日	作成日	令和 年 月 日
被保険者 氏名	要介護認定 (該当に○)	要支援				要介護		所属事業所			
利用 者	1 · 2	経過的	· 1 · 2 · 3 · 4 · 5					資格 (作成者が介護支援 専門員でないとき)			
住所											氏名
											連絡先

住宅改修が必要な理由書

<P1の「総合的状況を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修箇所に記入してください。>

活動	①改善をしようとしている生活動作		②①の具体的な困難な状況(…なので困っている)を記入してください	③改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(…が改善できる)を記入してください	④改修項目(改修箇所)
	トイレまでの移動	トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む)			口手すりの取付け
排泄	口便器からの立ち座り(移乗を含む) 口衣服の着脱 口排泄時の姿勢保持 口後始末 口その他()		□できなかつたことをできる ようにする □転倒等の防止、安全の確保 □動作の容易性の確保 □利用者の精神的負担や 不安の軽減 □介護者の負担の軽減 □その他()	□転倒等の防止、安全の確保 □動作の容易性の確保 □利用者の精神的負担や 不安の軽減 □介護者の負担の軽減 □その他()	（ ）
入浴	□浴室までの移動 □衣服の着脱 □浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む) □浴室内での移動(立ち座りを含む) □洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) □浴槽の出入(立ち座りを含む) □浴槽内での姿勢保持 □その他()		□できなかつたことをできる ようにする □転倒等の防止、安全の確保 □動作の容易性の確保 □利用者の精神的負担や 不安の軽減 □介護者の負担の軽減 □その他()	□転倒等の防止、安全の確保 □動作の容易性の確保 □利用者の精神的負担や 不安の軽減 □介護者の負担の軽減 □その他()	（ ）
外出	□出入口までの屋内移動 □上がりかまちの昇降 □車いす等、器具の着脱 □履物の着脱 □出入口の出入 (扉の開閉を含む) □出入口から敷地外までの 屋外移動 □その他()		□できなかつたことをできる ようにする □転倒等の防止、安全の確保 □動作の容易性の確保 □利用者の精神的負担や 不安の軽減 □介護者の負担の軽減 □その他()	□転倒等の防止、安全の確保 □動作の容易性の確保 □利用者の精神的負担や 不安の軽減 □介護者の負担の軽減 □その他()	（ ）
その他の活動			□できなかつたことをできる ようにする □転倒等の防止、安全の確保 □動作の容易性の確保 □利用者の精神的負担や 不安の軽減 □介護者の負担の軽減 □その他()	□滑り防止等のための床材の変更 □その他()	（ ）